

さる6月2日（日）県薬会議室にて、100名弱の会員の先生方が出席される中、第41回千葉県学校薬剤師会総会が開催されました。

議案は滞りなく承認され、今期の新たな事業としては、「学校薬剤師研修会・地域サポート」と「県立校担当者研修会」が掲げられております。

県学薬の研修会は毎年数回開催されておりますが、県薬会議室で行われる研修会には日程・場所等の都合でお越しになれない会員の先生方もいらっしゃるかと思ひ、「学校薬剤師研修会・地域サポート」を考案いたしました。一支部では開催不可能な研修会でも、近隣の支部が集まり共同で開催する形で、県学薬のサポートを受けられるシステムです。「出前研修」のような感

じで開催いたしますので、お近くで開催された際には、是非ご参加ください。

また従来、県立校単独の事業としては、検知管の提供しか行われておりませんでした。本年より、環境衛生検査を中心とした様々な検査等の説明や提案、行政からの連絡等も含めた研修会を開催させていただく事となりました。県立校担当の先生へは、別途ご案内を差し上げますので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回は改選期であり、下記にお示しする役員が承認されたことを、ここにご報告いたします。あわせて、支部長名簿も掲載させていただきます。

■ 千葉県学校薬剤師会 役員一覧 (平成25年度～平成26年度)

会 長	畑中 範子
副会長	小西 弘晃
〃	日向 章太郎
〃	大塚 昌孝
常任委員	石井 通子
〃	大野 定行
〃	木村 憲
〃	土橋 ふみよ
〃	並木 佳久
〃	深谷 桂子
〃	藤波 宏忠
〃	宮代 和幸
監 事	岸本 雅邦
〃	斉藤 好富
相談役	麻生 忠男
〃	石野 良和
〃	金親 肇

■ 千葉県学校薬剤師会 支部長名簿

支部	支部長	支部	支部長
野 田	島田 圭祐	香 取	三宅 仁一
柏	大塚 昌孝	銚 子	岡田 知恭
流 山	藤波 宏忠	旭	斉藤 幸子
我孫子	松下 世津子	匝 漥	小関 享子
松 戸	安藤 秀人	山 武	並木 佳久
市 川	島崎 美知子	外 房	矢野 恵子
船 橋	木村 憲	館 山	宮崎 毅
習志野	竹内 清	鴨 川	谷 繁也
八千代	小澤 悦代	君 津	小柴 歳一
千 葉	日向 章太郎	市 原	小西 弘晃
印 旛	湯浅 恵美子	浦 安	畑中 範子

— 今後の学薬研修会の予定 —

- 7月15日(月・祝) 県立校担当者研修会
- 10月6日(日) 学校薬剤師研修会 in 幕張
- 平成26年2月23日(日) 学校保健講習会・薬乱防止
(総会資料では3/23となっておりますが、2/23の誤記でした)

6/2研修会報告「学校におけるエピペン使用方法について」

千葉県学校薬剤師会
常任委員 木村 憲

6月2日（日）千葉県学校薬剤師会総会終了後、沢山の出席者の中、ファイザー株式会社千葉営業所の池本真人氏より「学校におけるエピペン使用について」を演題とし、アドレナリン注射液エピペンについてご講演いただいた。冒頭に昨年12月、調布中の小学校にて給食時間に起きたアナフィラキシーによる死亡事故を取り上げた、「クローズアップ現代（タイトル：守れるか給食の安全、続発アレルギー事故-検証アレルギー事故）」の放送が紹介された。粉チーズ抜きのチヂミを食べ終わった児童生徒がおかわりをして、担任がうっかりして粉チーズ入りのチヂミを与えてしまい、アナフィラキシーショックを起こしたものだ。加えて本人が喘息と訴えたので、エピペンを注射するのが遅れ、結果的に亡くなってしまった。

まずアナフィラキシーは原因物質が体内に入ってから、多くは30分以内に現れる。生死に関わる急性のアレルギー反応で循環器・呼吸器・消化器・粘膜皮膚・神経と全身に様々な症状があり、呼吸困難や意識障害に至ることが紹介された。国内での死亡例は、2011年は71件（蜂関係：16件、食物：16件、医薬品：32件）で、食物アレルギーは3番目であるが、我々が取り扱う医薬品が最も多い事は改めて薬剤師の役割と責務が問われる事を自覚させられた。しかし、幼児の食物アレルギーが10年で倍増している事、アナフィラキシーの原因の35%が食物である事から、食物アレルギーへの対応は学校現場

で急務であるだけでなく、学校薬剤師もしっかりした知識と適格な指導が求められるだろう。

エピペンの投与は、報告ではアナフィラキシー発現から心停止までが薬剤で5分、蜂毒で15分、食物で30分なので少なくともそれぞれの重症度（グレード3）では速やかに行う必要がある。また、注射にあたっては本人の楽な姿勢で打つこと、もちろん直ちに救急搬送を要請することは当然である。

更にエピペンにはアドレナリン0.15mg（体重15kg以上30kg未満）と同0.3mg（30kg）の2種があり、注射して5秒間は患部を揉んで欲しいとの説明があった。また使用期限は、米国生産時は20ヶ月だが、流通の関係で国内では1年未満となってしまう。保護者本人以外の使用は、緊急時は救命士、教職員、保育士も可能となっている。との説明もあった。

ご講演の後に質問が続いたが、○打つタイミングで副作用の発現率は低くなる○早めの投与○医師は疑わしくは投与している○8割は全身症状となっている○登録医制度、歯科は使用医登録が必要○ハチ対応の処方も可○エピペン針は1.5 cm（大腿投与は前部外側筋肉が発達している為）など、丁寧な回答があった。

平成23年度のアレルギー事故は311件を数え、何らかのアレルギーを持つ人が3万人と言われる中、我々薬剤師は薬局外の学校現場でもその責務を発揮する事が求められると実感させる勉強会となった。

平成25年度 千葉県学校保健会理事会・評議委員会報告

平成25年6月3日（月）午後1時30分より千葉県教育会館401号室において開催され、会長挨拶、出席者紹介の後、井上会長が議長に選出され議事が進行されました。

今回の議事は、各郡市学校保健会及び学校保健関係団体を代表して選出された役員の選出にはじまり、平成24年度事業報告、決算報告、平成25年度事業計画案、予算案の議事が出され問題なく満場一致で可決承認されました。

最後に連絡報告事項で、平成26年度関東甲信越静学校保健大会千葉大会についての報告がされました。

平成26年度 第65回関東甲信越静学校保健大会千葉大会は、平成26年8月21日（木）幕張メッセで開催予定であり、千葉県における開催は、平成15年8月28日以来となり、医師会・歯科医師会・薬剤師会等関係団体の協力をお願いしたいとのことでした。

平成25年 学校薬剤師研修会のお知らせ

テーマ「学校薬剤師業務の原点を考える」

—学校薬剤師と業務の標準化を目指して—

日本薬剤師会主催、日本薬剤師研修センター共催

日 時；平成25年10月6日（日）13：00～17：00（受付開始13：00）

場 所；ホテルスプリングス幕張スプリングスホール

研修内容；

- ①「保健管理・保健教育における学校薬剤師の役割」
- ②「学校薬剤師が行う学校環境衛生の実際について」
- ③「学校薬剤師が知っておくべき薬物乱用の現在」

~~~~~  
正式な案内状が出来次第、会員個々にご案内させていただきます。  
~~~~~